

主要地方道つくば野田線改良整備の促進について

平素より、当地域の道路行政につきましては、特段のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

主要地方道つくば野田線は、茨城県つくば市を起点に、つくばみらい市、常総市、坂東市を経て、千葉県野田市に至る重要な幹線道路であります。

本線は、つくばエクスプレス線の開業に伴うみらい平地区の住宅開発の進展、内守谷工業団地の操業、常総ニュータウンの完成により、常磐自動車道の連絡道路として、交通量は年々増大しております。

また、昨今の社会情勢により物流需要が高まっている他、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の4車線化や東埼玉道路の整備が進捗し、広域的な交通量の増加が、今後、想定されます。

当同盟会では、つくば野田線の改良整備の促進を要望して参りましたが、茨城県側では、みらい平駅周辺、きぬの里内において4車線化の改良が進み、また、玉台橋、谷原大橋、菅生大橋も改良され事業が大きく推進されております。

しかしながら、千葉県・茨城県境の芽吹大橋周辺の交通渋滞は未だ解決されず、千葉県側では国道16号との交差点付近まで常時渋滞し、茨城県側では朝夕の混雑時には約4km先の菅生南交差点にまで渋滞が達する状況であります。これらの渋滞による輸送時間の浪費、経済活動の停滞、環境への負担等、地域住民及び地域行政に及ぼす影響は極めて大きいものと思われます。

千葉県野田市は周囲を利根川、江戸川、利根運河に囲まれ、ひとたび大きな災害が発生した際は、広域的な避難が必要です。芽吹大橋を含むつくば野田線は、両県においても緊急輸送道路に指定されており防災面でも重要な路線となります。

芽吹大橋並びに県道我孫子関宿線までの4車線化については、平成13年11月、野田市・関宿町が合併重点支援地域の指定を受ける際、千葉県から「最大限の努力」が表明されているものであり、平成15年6月の野田市・関宿町の合併に係る「新市建設計画」の中の県事業にも、千葉県のご同意をいただいたうえ、位置付けされております。

現在、「千葉北西連絡道路（野田市から印西市間）」の検討が進められており、つくば野田線と接続する計画となることも考えられます。

以上の実情、今後の計画を見据えていただき、芽吹大橋並びに主要地方道の4車線化整備について、特段のご高配を賜りたく、関係地域住民を代表し要望いたします。

加えて、本路線のように地域に密着して日常生活の基盤となる道路の整備に対しては、道路財源の確保について、国や関係機関への働きかけ等、特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

【千葉県への要望】

1. 坂東市矢作地内から野田市県道我孫子関宿線までの4車線化の早期実現（芽吹大橋の4車線化を含む）

【茨城県への要望】

1. 坂東市矢作地内から野田市県道我孫子関宿線までの4車線化の早期実現（芽吹大橋の4車線化を含む）
2. 芽吹大橋の適正な維持管理の実施
3. 国道294号から常総市都市計画道路鹿小路細野線までの4車線化の早期完成
4. つくばみらい市西檜戸地内から上小目地内までの改良整備

令和6年10月23日

主要地方道つくば野田線整備促進期成同盟会

会長

常総市長

神達 岳志